（一財）富山県剣道連盟 剣道段位審査
学科答案作成の手引き（初段～三段）

一般財団法人 富山県剣道連盟

1．剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽くして
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和 50 年 3 月 20 日制定
財団法人全日本剣道連盟

2．全日本剣道連盟 剣道試合･審判規則 第 12 条

有効打突は、充実した気勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものとする。

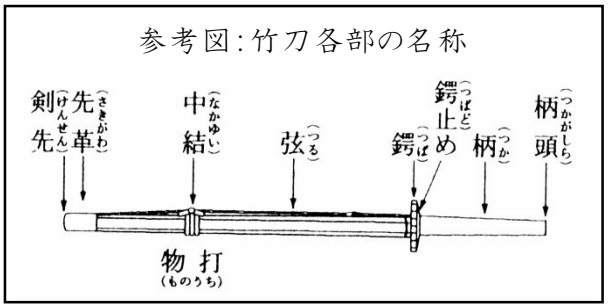
語句の解説

･充実した気勢　気力が充実していて、相手を圧倒する気勢があること

･適正な姿勢　竹刀の打突方向と打突したときの体勢が調和し、かつ、動的な姿勢が安定していること

･竹刀の打突部　物打を中心とした刃部（弦の反対側）

参考図：竹刀各部の名称



･打突部位　面部は正面および左右面（こめかみ部以上）、コテ部は中段の構えの右小手、および中段以外の構えなどのときの左小手または右小手、胴部は右胴および左胴、突部は突き垂れ

･刃筋正しく打突　打突時に竹刀の打突方向と刃部（弦の反対側）の向きが同一方向であること

･残心　打突した後でも油断することなく、相手の反撃に対応できる身構えと気構え